



2018年11月27日

報道関係者各位

慶應義塾大学薬学部

新規抗体医薬の技術開発による 創薬イノベーション研究プロジェクトを開始

— 抗体免疫先進研究プロジェクト (Primab) —

慶應義塾大学薬学部創薬研究センターは、抗体免疫先進研究プロジェクト (Progressive Research for Immunology and Antibody (Primab) : プロジェクトリーダー 長谷耕二教授) に関して、協和発酵キリン株式会社と共同研究契約を締結し共同研究を開始しました。

抗体免疫先進研究プロジェクト (Primab) は、次世代抗体医薬の技術開発とシーズ探索、創薬分野における人材育成を目的として設置されました。本プロジェクトの推進により、希少難治性疾患や慢性炎症疾患などに対するアンメッドメディカルニーズ (いまだに治療法が見つからない疾患に対する医療ニーズ) に応え、健康長寿社会の実現に貢献していきます。

特定の分子を狙い撃ちして病気を治療する分子標的薬は、現在、新薬開発の主流となりつつありますが、その代表である抗体医薬は様々な疾患分野において特効薬として使用されています。本プロジェクトでは、産学連携でターゲットバリデーション (創薬のターゲット (標的) として適当な分子を選定すること) に基づく創薬標的を確立し、炎症性腸疾患や自己免疫性疾患などに対する新たな抗体医薬の創出を目指しています。

※ ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※ 本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部等に送信させていただいております。

・研究内容についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学薬学部 生化学講座 教授

長谷 耕二 (はせ こうじ)

TEL/FAX : 03-5400-2484

E-mail : hase-kj@pha.keio.ac.jp

研究室 HP : <http://square.umin.ac.jp/keio-dbc/>

・本リリースの配信元

慶應義塾広報室 (豊田)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

E-mail : m-pr@adst.keio.ac.jp

<https://www.keio.ac.jp/>

参考資料

1. 慶應義塾大学薬学部創薬研究センター（センター長 三澤日出巳教授）

慶應義塾大学薬学部（東京都港区）では、2014年に創薬研究センターを設立し産学官の連携拠点として創薬研究の高度化と人材育成に取り組んできました。その活動拠点として「創薬研究センター・ラボラトリー」を整備し、薬学部をはじめ慶應義塾大学内の幅広いエキスパートの参画のもと、先端研究の実施と研究戦略の科学的立案に取り組むネットワーク・ハブを形成しました。これらの取り組みは、現在までに、特許出願や企業との共同研究に結びつくなどの成果を挙げています。このたび、特定の先端創薬研究や先端技術開発に向けたコンソーシアム構築と高度化のための、プロジェクト制を導入し、研究スペースの拡張や主幹教員の配置など、さらなる運営体制の強化に努めています。

<http://www.pha.keio.ac.jp/research/rcdd/index.html>

2. 協和発酵キリン株式会社（代表取締役社長 宮本昌志）

協和発酵キリンは、がん、腎、免疫疾患を中心とした領域で、抗体技術を核にした最先端のバイオテクノロジーを駆使して、画期的な新薬を継続的に創出し、開発・販売をグローバルに展開することにより、世界の人々の健康と豊かさに貢献する、日本発のグローバル・スペシャリティファーマとなることを事業ビジョンとしています。詳細は <https://www.kyowa-kirin.co.jp> をご覧ください。